

1 単元名 5 心の動き 「星の花の降るころに」

2 単元の目標

- (1) 比喩、反復、倒置、体言止めなどの表現の技法を理解し使うことができる。(知識・技能)
- (2) 場面と場面、場面と描写などを結び付けたりして、内容を解釈することができる。(思考・判断・表現)
- (3) 言葉がもつ価値に気づくとともに、進んで読書をし、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとしている。(学びに向かう力、人間性等)

3 単元構成の意図

生徒は小学校から多くの文学的文章を読み、叙述に沿って登場人物の心情を読み取る手法を学んでいる。しかし、語彙力の乏しさや読書活動の不足から、比喩表現や語句の意味を理解して読んだり、場面と人物の情景の描写を結び付けたりという読み方ができていない生徒が多い。文学的文章を味わうためには、個々の場面や描写から直接わかることを把握するだけでなく、複数の場面を結び付けたり、それぞれの場面と人物や情景の描写を結び付けたりするような読み方が重要である。そのため、「大人になれなかった弟たちに・・・」で学習した、描写に着目して読むことの大切さを生かしながら、複数の場面や描写を結び付けて読み進めることで、主人公の気持ちの変化を比較させ、山場を捉えさせたい。

この作品では、主人公の繊細な心の動きが巧みな比喩によって表現されたり、冒頭と結末の銀木屋が主人公の気持ちの変化を表す象徴として描写されたりと、表現の工夫が施された、魅力的な文章となっている。読者が主人公の「私」と同じ中学生であることから、「私」と「夏実」との関係に思いを巡らせ、自分の生き方についても考えることができる作品である。

4 単元の学習計画

時間	場面	学習活動(夢中になって学んでいる姿)	備考
1	課題設定	・作品を通読し、登場人物の関係を整理しながら、今後の学習の見通しをもつ。	・時や場所、人物などを抑えながら、場面分けをしている。(思・判・表)
2 ・ 3	構造・ 内容把握	・場面の展開に沿って、「私」の気持ちの変化を表にまとめる。 ・比喩表現を探して、どんな情景や気持ちを表しているか考える。	・「私」の気持ちが読み取れる表現に着目しながらまとめようとしている。(思・判・表) ・場面ごとの状況や、場面と人物をなどの描写を結び付けて、内容を読み深めている。(思・判・表)
4 本時	精査・解釈	・同じ物や場所について、それぞれの場面や描写を比べて読み、どんなことが読み取れるか話し合うことで、変化のきっかけとなった「山場」を確認する。 ・冒頭と結末の「銀木屋」に関する描写の違いを読み取る。	・場面と場面、場面と描写などを結び付けて内容を解釈している。(思・判・表)
5	考えの形成	・結末の一文が意味するものを考え、物語の続きを考える。	・読み取ったことを生かして、作品の続きを考えようとしている。(主体的に学習に取り組む態度)
6	共有	・完成した物語を紹介しながら交流し、学習を振り返る。	・交流を通し、新たな読みにつなげている。(思・判・表)



単元を通して育成したい生徒の姿
文中における比喩表現や語句の意味を理解し、場面と人物や情景の描写を結び付けながら心情を解釈する姿

5 本時における国語科の見方・考え方を働かせた学びの姿

- 場面や描写を比較しながら主人公の心情変化に気づき、物語の山場を捉えようとする姿

6 本時の研究の視点

【見方・考え方を働かせながら学びを自分事として捉える指導の工夫】

- 生徒の気づきを生かして課題解決に迫り、情景描写から主人公の心情変化を読み取る。
- 比較がわかるようなワークシートやホワイトボードを用いることで、多くの意見を可視化し、自分の読みの有効性を実感させる。

【学びの連続性を意識した振り返り】

- 「自分の読みは適切であったか」「足りなかった考えは何か」「今後のどの学習に活用できそうか」などの視点で振り返らせることで今後の学習への意欲付けを図る。

7 本時のねらい

山場を捉える活動を通し、場面や描写を結び付けて読むことで、主人公の心情の変化を読み取ることができる。

8 学習過程 (4/6)

段階	学習内容・活動	時間	○教師の支援 ※評価 (方法)
課題設定	1 課題を把握する。 (1)最後の場面を音読する。 ○「私」の気持ちが、最初とは違っていると感じた人が多いね。 (2)山場の見つけ方について確認する。	5	○課題を自分事として捉えることができるよう、前時の学習(戸部君に対する見方の変化)において、学んだことを生かして今日の課題を解決することを確認する。
課題解決	「私」の気持ちが変化した瞬間を突き止めよう。 2 課題を解決する。 (1)比較できる描写や表現を確認して自分の予想を立てる。 ・同じ物「ビニール袋」 ・同じ場所「銀木犀」 ・同じセリフ「大丈夫」 ・指定アイテム以外に自分が気になった描写 (2)小グループでお互いの考えを伝え合う。 ・全体で確認した共通の描写 ・共通の描写意外に自分が気づいた表現 (3)全体で意見を共有し、最終的な山場を確認する。 ①お守りみたいなビニール袋の中身を落とす→夏実の思い出との決別 ②守ってくれると信じていた銀木犀の木の下を出る→新たな一歩 →①②の行動をしようと決意させたきっかけと変化の証拠となる描写	10 10	○これまでに読んだ場面と「同じ物」や「同じ場所」「同じ言葉」などに着目し、比較させることで、「私」の心情の変化によって描写も異なっていることを気づかせる。 ※「ビニール袋」「銀木犀」の描写の違いに気づき、「私」の心情の変化を読み取り、山場を判断している。(ノート) ○描写の違いを比較しやすく、話し合いの結果を全体に示すために、ホワイトボードにまとめる。
振り返り	3 本時のまとめをする。 (1)自分の考えが合っていたかどうか振り返る。 かたむいた陽が葉っぱの間からちらちらと差し、半円球の宙にまたたく星みたいに光っていた。 (2)まとめをする。 ○登場人物の心情の変化は、同じ物や場所、風景などの描写を手がかりに考えることができる。	10	○各グループが着目した描写を共有し合い山場を決定づけるために有効だと思われる根拠を判断させる。 ○情景描写も登場人物の心情を読み取る手がかりになることに気づかせる。 ○自分の読みが適切だったのか、足りなかったことは何か、どうすればよかったのか、今後どんな場面で活用できるのか、などの視点で振り返りをさせる。

9 板書画

<p>まとめ</p> <p>描同登 写じ場 を物人 がや物 か場 かりの に心 に情 に景 考変 え化 るは ここの</p>	<p>実行する (各グループの考え)</p> <p>・お守りみたいなビニール袋 ・銀木犀の真下に立ち ・大丈夫 ・銀木犀が守ってくれる ・銀木犀の木の下の出た ・落とした ・大丈夫 ・お婆さんの言葉</p> <p>【山場】【きっかけ】 ←</p>	<p>考え</p> <p>各自の予想</p>	<p>気づき</p> <p>【比較できるもの】</p> <p>・同じ物 ・同じ場所 ・同じ言葉 ・他の判断アイテム</p> <p>・銀木犀 ・大丈夫</p>	<p>めあて</p> <p>私の気持ちが変化した瞬間を突き止めよう</p>
--	---	------------------------	--	---------------------------------------